

# 市立青葉病院、市立海浜病院を市立のまま存続・充実を

～子どもから高齢者まで安心の医療の提供のために～ **あたらしい千葉・みんなの会**



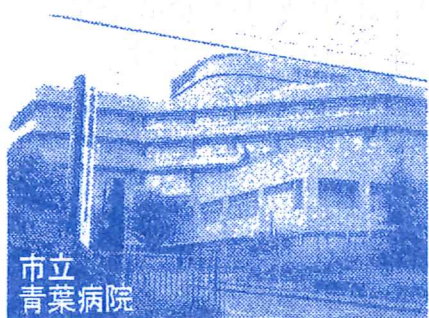
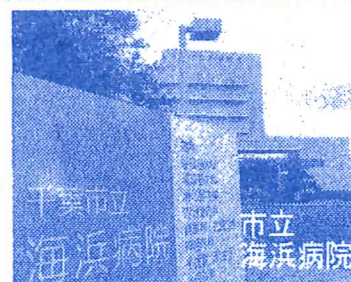
市立海浜病院の存続問題で、今年1月から存続と診療科目の充実を求める署名活動に取り組み、署名数10,425筆が寄せられました。みなさんの声を市に働きかけをしていくことで市立海浜病院は近隣での建て替えをしていく方向性が示されました。ご協力に感謝を申し上げます。

## 海浜は全面建て替え「新病院」、青葉は縮小で救急医療がなくなる？



千葉市病院事業のあり方検討委員会が開催されていますが、利用者である市民の委員がおらず、市民の声を反映する機会がないまま、8月には答申が示される予定です。

あたらしい千葉・みんなの会は、千葉市に対して、広く市民の声を聴くことや、シンポジウムなどの開催で情報を伝えることを求めています。



6月4日に開催された病院事業のあり方検討委員会では、Aは現状維持、Bは統合、B'は新病院を海浜と同じ300床で出発し、2030年以降に機能分担を図り、新病院に救急医療など急性期機能を集約、青葉は回復期・慢性期機能を担う病院として縮小再編するという下図の3パターンが示されました。

私たちは、海浜病院も青葉病院もそれぞれ市立のまま存続・充実することが必要と考えます。【図表=千葉市ホームページより】

時間軸	パターン	A		B	B'(機能分担を図った場合)	
	病院区分	青葉病院 (ア)	新病院 (イ)	新病院 (ウ)	青葉病院 (エ)	新病院 (オ)
2017年	a 1日当たり入院患者数	252人	184人	/	/	/
	b 病床数(精神病床除く) 【 】は病床稼働率	320床 【79%】	293床 【63%】			
新病院稼働時 (2020年代半ば)	c 病床数(精神病床除く)	320床 (2017年・維持)	293床 (2017年・維持)	560床～ 640床程度	300床程度 (2017年・維持)	300床程度 (2017年・維持)
2030年	d 1日当たり入院患者数	502人		500人程度	100人+α	400人程度
	e	(306人)	(196人)			
	f 病床数(精神病床除く) 【 】は病床稼働率	320床 【96%】	293床 【67%】	560床～640床 【90%】 【78%】	200床未満	440床～510床 【90%】 【78%】



署名とみなさんの声が  
市政を変える大きな力になります  
署名へのご協力をお願い致します  
【裏面が署名です】

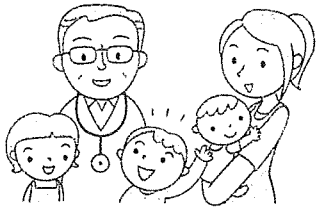
「あたらしい千葉・みんなの会」機関紙

### あたらしい千葉

2019年7・8月号 No.72  
〒263-0016 千葉市稲毛区天台5-24-8  
(千葉土建千葉支部内) 電話 043(290)0005

# 公立病院の役割と意義を学ぶ

病院問題学習会



海浜病院と青葉病院のあり方が問われて、議論しているさなかに、厚労省は、公立・公的病院で「再編・統合・縮小」が必要な424病院を公表しました。その中には、市立青葉病院をはじめ県リハビリテーションセンター、国立千葉東病院、ジェイコー千葉病院（旧社会保険病院）の市内4病院があげられています。

地域になくてはならない公立病院について、その必要性、役割と意義を学び、ともに考えませんか。ぜひご参加下さい。



**とき** 11月24日(日) 13:30~  
(開場13:00)

**場所** 千葉市生涯学習センター  
地下1階・小ホール **参加費:無料**

**講演** **横山 寿一** 佛教大学教授



○最近の著書

- 『老後不安からの転換』（共著）：大月書店
- 『いま地域医療で何が起きているか』（共著）
- 『医療・福祉と人権』（共著）：旬報社

## 【学習会の内容】

- 仮題『公立病院の役割と意義を学ぶ』  
講師：横山 寿一さん  
(日本医療総研・佛教大学社会福祉学部教授)
- 市立病院問題の経過報告について  
—佐々木ゆうき前市議
  - 質疑応答・意見交換
  - 今後の運動の方向性と行動提起  
—中村きみえ市議

**主催: あたらしい千葉・みんなの会** 【お問い合わせ先】 運動を発展させるための募金にご協力ください  
090-3210-6079 結城(受付:9時~17時)

千葉市議会議長  
岩井 雅夫 様

## 市立青葉病院と市立海浜病院を市立のまま存続・充実を求める請願署名

千葉市には海浜病院と青葉病院の2つの市立病院があり、市民の命と健康を守る砦の役割を果たしています。この間、あたらしい千葉・みんなの会では、市立海浜病院の存続と診療科目の充実を求めて署名を集め、10,658筆を市に届けてきました。2つの病院のあり方について、千葉市病院事業あり方検討委員会が開催され、病院のあり方が検討されてきました。

8月の第5回の検討委員会（最終）では、救急医療の充実や小児周産期など政策的医療の確保を考慮すれば老朽化した海浜病院に代わる新病院が近隣地域に必要という方向を出しました。その一方で、青葉病院は2030年には救急医療などの医療機能を縮小する方向性を答申しました。

97万市民にとつて海浜病院も青葉病院も市立のまままで充実・発展させていくことによつて、市民の命と健康を守る役割を果たすことができます。よつて、以下、請願致します。

1. 市立青葉病院と市立海浜病院を公立・直営のまま存続し、充実してください。
2. 市立海浜病院は、近隣に用地確保を早急に行い、建替えを進めて下さい。

氏名	住所	家族欄

取り扱い団体

あたらしい千葉・みんなの会  
〒263-0016 千葉市稲毛区天台5-24-8  
(千葉土建千葉支部内) TEL043(290)0005